

福祉教育連絡会

「ともに生きる力」を育むために

～すべての小・中学校での授業実施をきっかけに～



昨年度、これまで念願だった“町内すべての小・中学校での「ふくしの授業」実施”を実現することができました。長い時間がかかりましたが、先生方や当事者のゲストの方々、地域や事業所の協力を得ながら、みんなで創り上げてきたこの時間はかけがえのないものです。だからこそ、今、みんなで集まって話がしたい！そうして「福祉教育連絡会」が誕生しました。

学校での福祉教育の推移

	小学校	中学校	保育所	計
令和元年度	3	1	0	4
	21	12	0	33
令和2年度	4	0	0	4
	47	0	0	47
令和3年度	5	1	0	6
	58	8	0	66
令和4年度	5	1	0	6
	51	10	0	61
令和5年度	5	1	0	6
	61	4	0	65
令和6年度	5	2	1	8
	62	7	1	70

※上段は実施校数、下段は授業のコマ数

初めての連絡会では、社協職員から「ふくしの授業のねらいや想い」を伝え、各校の先生方からは社協と行う授業や連絡会に対する意見を伺いました。

社協と学校、または学校間で互いの想いを共有したことで、「授業を一緒につくる」という共通認識を持つことができました。

私たちの町には、高校がありません。子どもたちは、高校生になると町の外で過ごす時間が長くなります。だからこそ、小・中学生の今、町の現状を知り、さまざま

「社協の思いが伝わった」
「小学校から中学校へ」
つながりを作れたら

な人や体験との出会いを通して、この町を好きになつてもらいたい。子どもたちだからこそ、できることがある。そしてこれから先も、「ふくしの授業」での学びを思い出し、助けあいや支えあいの一員として町の未来を担ってほしい。そんな思いを込めて、みんなで福祉教育に取り組みます。

参加した先生から

社会福祉協議会と一緒に！

内浦小学校 4年生担任 城 宣人 先生

福祉教育連絡会は、例年にはない取り組みとのことでしたが日頃交流する機会が少ない他の小・中学校と情報の共有を図ることができ、学校の希望にできる限り応えようとしてくださる社会福祉協議会の話も伺うこともできました。私もその言葉や思いを参考に、子どもたちにとって有意義な時間を作りたいと考えました。学校や児童の実態に応じた活動内容を考えてくださっていることに感謝しています。今後も児童のことを一番に考え、社会福祉協議会のみなさんと一緒に取り組みを進めていきたいと思っています。



社会福祉法人 日本傷痍者更生会

高齢者部門

特別養護老人ホーム
ショートステイ
居宅介護支援事業所
デイサービスセンター
介護老人保健施設
通所リハビリテーション
訪問リハビリテーション
グループホーム

恵の家

いこいの里

更生会

にじの郷

ショートステイ

小規模多機能型
居宅介護事業所

サービス付き
高齢者向け住宅

デイサービス
ヘルパー事業所

ふれ愛

ゆい

クレア

子ども部門

児童養護施設

小規模保育所

児童発達支援センター

報恩母の家

ひよこ保育園

くすのき

放課後等デイサービス

里親支援センター

学童ふれ愛

リンク

障がい者部門

障がい者支援施設
就労継続支援B型

希望舎

相談支援事業

リアン



高齢者・障がい者・児童のことなら何でもご相談ください♪